

研究結果報告書

所属 輔仁大學全人教育中心

役職 助理教授

氏名 謝 嘉文

研究結果

本研究は、孫文（1866-1925）と渋沢栄一（1840-1931）の知行観念とその行動規範について、時代背景、彼らの交流、活動実績、直筆の文書等の資料から、その差異や共通点を明らかにするものである。

本研究において、孫文と渋沢の思想には、知行観念によって行われる実践の中心には大愛思想がなければならない、という共通点があることが明らかとなった。それはつまり、知行観念によって実践されるべき、知識、思想、政治的なスローガンは、社会、国家、民族、そして、世界への愛として反映されなければならないということである。

孫文は、大愛思想を中国の儒教の仁、つまり、慈悲の心であると解釈し、自分ではなく、他者を愛する心であるとし、それは、すなわちすべての人々を愛する心であるとした。そして、それは、世界を救うために自己を犠牲にする精神であることを強調し、当時混乱の渦中にあった中国4000万人の人々の幸せを求め、無私無欲に政治的实践を行った。

一方、渋沢は論語から知行観念と大愛思想を学び、大愛思想の慈悲の根源である愛とは、国民の利益を追求し、利己心を放棄することであることに加えて、国土、国家を愛することであるとし、社会と国家への公益や福祉を追求する実践を行った。

孫文と渋沢が、日本、中国そして台湾で知行観念の具現化として実践してきた偉大な業績の背景には、それぞれの個性的な大愛思想が存在し、それは今日に継承すべき思想であることが明らかになった。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

1. 孫中山與溥澤榮一的知行觀研究----以大愛思想的踐行為中心。謝嘉文、大鋸智
2021 第三屆兩岸孫學研究學術論壇。2021 年 10 月 14 日。大瀚環球商務中心 (台北市忠孝東路四段 285 號 5 樓)
2. 「金錢萬能乎？」---- 論孫中山與溥澤榮一的財富觀。謝嘉文、大鋸智。
「孫中山、辛亥革命與 20 世紀中國」學術研討會。2021 年 11 月 13 日。場所：線上
3. 孫中山與溥澤榮一的情誼----論中日提攜的雙贏策略。謝嘉文、大鋸智
「大道之行—紀念辛亥革命 110 週年」。2021 年 10 月 10 日。國父紀念館

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

題名：支那革命之父與日本經濟界之神----孫中山與溥澤榮一「知行觀」研究
著者名：謝嘉文、大鋸智 出版社：國立國父紀念館評選出版專書 発行時期：2023